

町のお金の使いみち

◎問い合わせ 財政課 内線219



その他 4億4,239万円

議会費	1億5,416万円
労働費	8,952万円
農林水産業費	6,565万円
商工費	1億 912万円
災害復旧費など	2,394万円

公債費 9億2,542万円

借り入れたお金の返済	9億2,542万円
------------	-----------

消防費 4億230万円

【主な事業】	
救急・救助等活動	983万円
消防専用無線の維持管理	1,052万円
消防団の運営	1,590万円

教育費 7億8,727万円

【主な事業】	
児童・生徒の健康管理	1,372万円
国府小学校プール建設	4,828万円
国府中学校グラウンド改修	7,808万円
小・中学校、幼稚園の維持管理	5,558万円
図書館・郷土資料館の維持管理	2,667万円



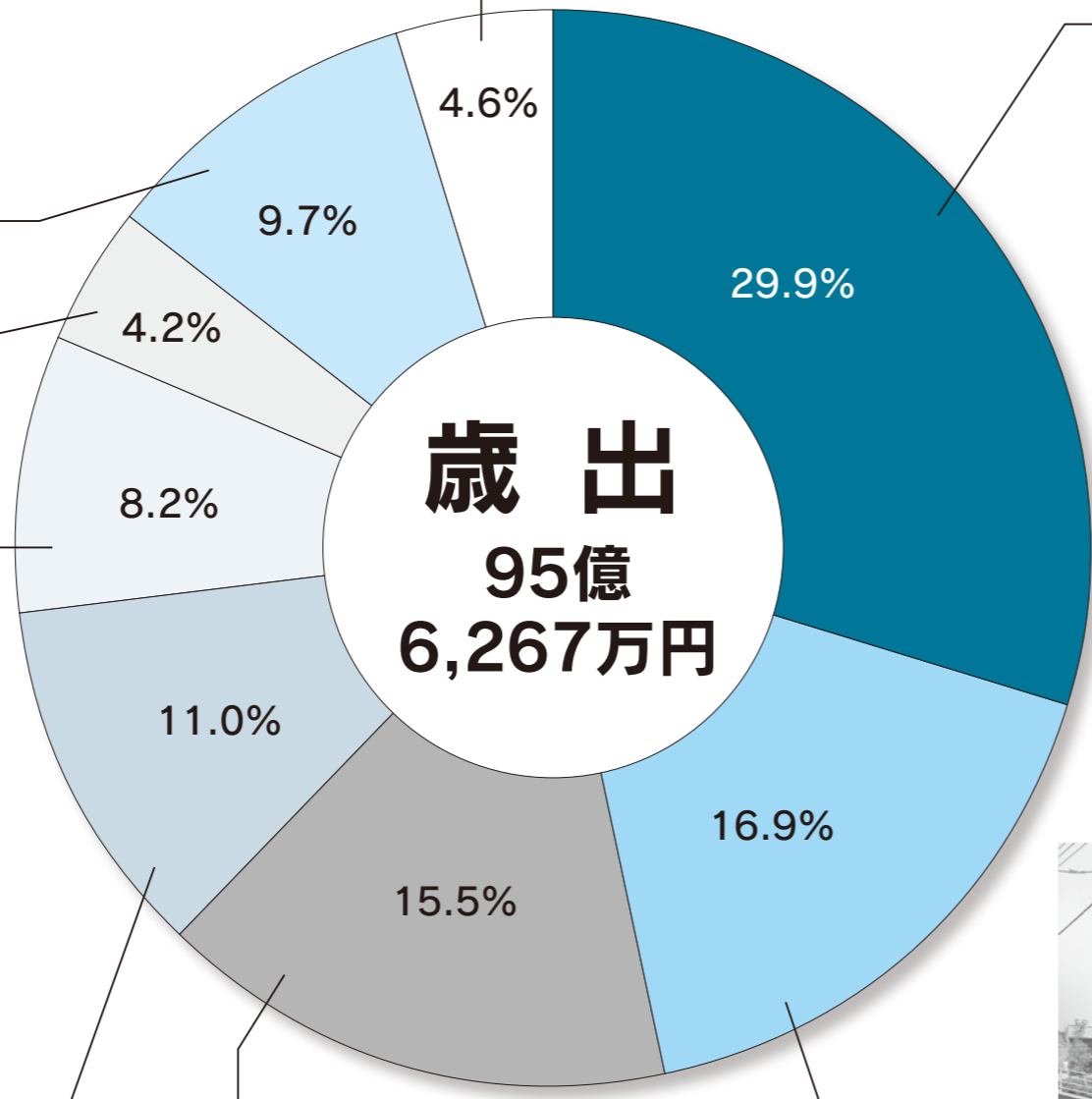
▲国府小学校プール

衛生費 10億5,154万円

【主な事業】	
各種乳幼児健康診査・健康相談等	737万円
予防接種や感染症対策	8,852万円
救急医療に係る費用	2,007万円
がん検診の推進	2,755万円
ごみ処理広域化事業	6,959万円
ごみの収集・運搬・処理	4億 39万円
し尿の収集・運搬・処理	9,503万円

※詳細は、町ホームページで公表します。

「あおみ」
 町では、限られた財源の中で事業を執行しなければならぬため、優先順位を設けながら安心安全なまちづくりの推進、健康づくりの環境保全など社会的需要の高いものに重点を置いて事業を実施しました。



民生費 28億5,856万円

【主な事業】	
心身障がいの方の医療費助成	1億6,627万円
障がい福祉サービスの提供	3億4,627万円
移動やコミュニケーションなど地域生活の支援	3,919万円
ひとり親家庭等の医療費の助成	1,400万円
小児医療費助成	8,135万円
放課後の児童の健全な育成	1,057万円
子ども手当の支給	5億7,255万円
保育園の運営	2,087万円
児童保育委託	1億6,507万円
国民健康保険事業特別会計の安定した運営	4億4,569万円
後期高齢者医療特別会計の安定した運営	3億1,626万円
介護保険事業特別会計の安定した運営	3億4,260万円



▲町営月京住宅

土木費 16億1,535万円

【主な事業】	
町内全域の道路・水路・側溝等排水施設の維持管理	2,384万円
狭あい道路の整備	7,313万円
国府本郷西小磯1号線整備	4,314万円
町内の地域公共交通	2,034万円
大磯駅前洋館の改修	2,366万円
町営月京住宅の建替	3億3,384万円

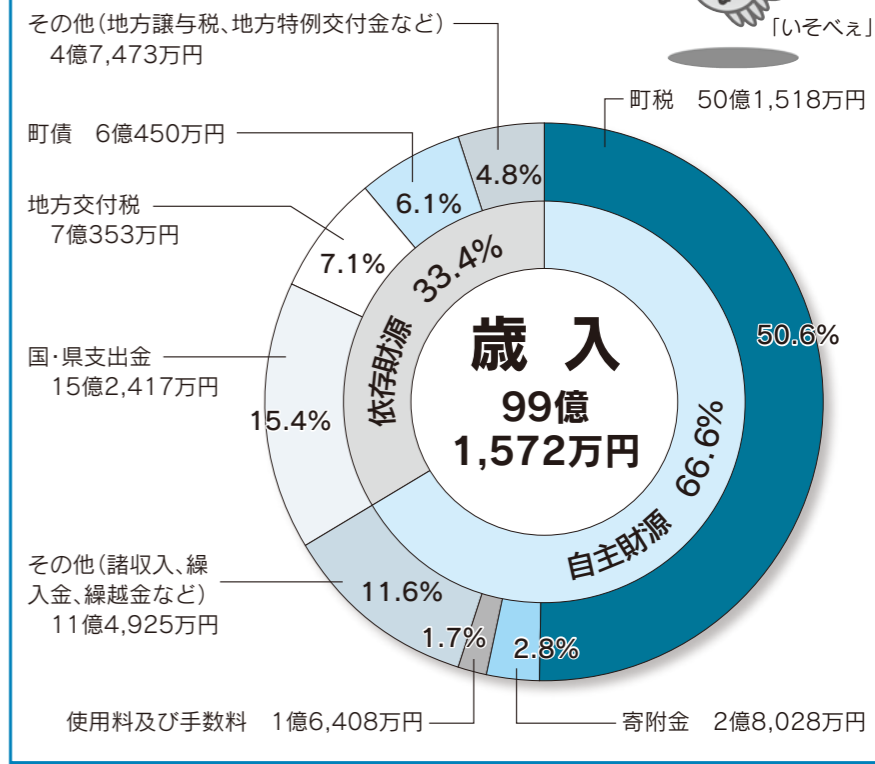
総務費 14億7,984万円

【主な事業】	
本庁舎・保健センターの維持管理	4,138万円
戸籍住民基本台帳の運営事務	4,000万円
町議会議員選挙	794万円
地域会館の維持管理	1,118万円
台町会館の建設	6,336万円
防災設備の維持管理	2,023万円
自転車駐車場の維持管理	6,405万円

歳出

総額で約4億円の増！
 大規模な建設事業を実施！

平成23年度の歳出決算額は、95億6,267万円です。前年度と比べ約4億円増えています。これは、歳入とも関連があります。町営月京住宅の建替や国府中学校グラウンドの改修、台町会館の建設、平塚市・二宮町と進めているごみ処理広域化事業などのほか、国府小学校のプール建設など大規模な建設事業を実施したことが増となった主な理由です。



歳入

町税は微減！自主財源比率も0.6ポイント減！

平成23年度の歳入決算額は、99億1,572万円です。前年度と比べ約5億円増えています。これは、医療費や町営月京住宅の建替、旧吉田茂邸再建のための寄附金が増えたことによりです。しかし、町の収入の根幹である町税は平成21年度から3年連続で減少していることから、総額は増えていますが、実際は依然として厳しい財政状況です。また、町税や使用料など町が独自の収入である自主財源の比率は前年度より0.6ポイント減っています。これに対し、国・県支出金や地方交付税(全ての地方公共団体が同じ水準で住民サービスが受けられるように一定の割合で国から交付される)、町債(借金)などの町独自で収入できない依存財源は増えています。